

武藤容治 外務副大臣 御挨拶
米日カウンスル年次総会 レセプション
2015年11月9日（月）
於：セルリアンタワー東急ホテル

ケネディ大使、
ヒラノ会長、
御来賓の皆様、

本日、米日カウンスル年次総会レセプションにおいて、御挨拶する機会を得ましたことを大変光栄に存じます。このレセプションには、TOMODACHI イニシアチブに関わりのある方が多くご出席していると伺いました。TOMODACHI イニシアチブは、ルース大使のイニシアチブにより、2011年、東日本大震災後に立ち上げられました。TOMODACHI イニシアチブに対する、ケネディ大使、ヒラノ会長、ルース大使、そして、日米の協力企業の皆様の御尽力に敬意を表します。東日本大震災から4年半が経過しましたが、米国の皆様によるご支援は戦後培ってきた強固な日米間の信頼関係の証です。この観点から、TOMODACHI イニシアチブのこれまでの成功に心よりお祝い申し上げます。

TOMODACHI イニシアチブは、外務省のカケハシ・プロジェクトと並び、日米の若い世代の間での人的交流を力強く支えています。本日のレセプションに御出席されている企業の皆様のお力があるからこそ実現可能な、多様でユニークなプログラムは、他には見られません。さらに、TOMODACHI イニシアチブは設立以来、東北の若者の参加を得て、東日本大震災の被災地復興にも大きく貢献してきました。こうした取組は着実に実を結んできています。このスピーチの後に、TOMODACHI サントリー音楽奨学金で学ばれた皆さんの演奏をお聴きすることをとても楽しみにしています。

TOMODACHI イニシアチブの可能性は無限大です。経済、安全保障、グローバルな課題と、日米の協力はますます重要になっています。東日本大震災からの復興に向けた歩みは確実に前へと進んでいます。震災の経験を風化させず、震災で確認された日米両国の絆を若い世代に引き継いでいく必要があります。

今後の日米関係を担う次世代リーダーの育成は日米同盟を更に強化する上で最重要課題です。また、世代を超えた日米関係の強化に向けて、TOMODACHI イニシアチブによる未来への投資は続けなければなりません。

そこで、私から、この場をお借りして、日本政府がTOMODACHI イニシアチブとのパートナーシップ、協力関係を更に強化することを改めてお伝えします。同時に、この度、外務省は、カケハシ・プロジェクトとして実施した大学生レベルの交流プログラム、「TOMODACHI イノウエ・スカラーズ」を今年度も継続して実施することを決定しました。カケハシ・プロジェクト、そして、TOMODACHI イニシアチブ。日米の人的交流における様々な取組を、皆様とともに盛り上げていくことをとても楽しみにしております。そして、TOMODACHI イニシアチブやカケハシ・プロジェクトに参加した日米の若者が将来世界で活躍することを願っています。

最後に、TOMODACHI イニシアチブの益々の発展をお祈りして、私の挨拶とさせていただきます。

(了)